

安全データシート

作成日 2022 年 8 月 1 日

改訂日 - 年 - 月 - 日

1. 化学品等及び会社情報

| | |
|--------------|------------------|
| 化学品等の名称(製品名) | 信彩 浅緑色 |
| 製品コード | SIP-08 |
| 会社名 | 株式会社 釉陶 |
| 住所 | 滋賀県甲賀市信楽町江田948-1 |
| 電話番号 | 0748-82-8150 |
| FAX番号 | 0748-82-8151 |
| メールアドレス | yuto@e-nendo.com |
| 緊急連絡電話番号 | 0748-82-8150 |
| 推奨用途及び使用上の制限 | セメント・漆喰用着色顔料 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|-----------|---------------------|--------------|
| 物理化学的危険性 | - | |
| 健康に対する有害性 | 呼吸器感作性 | 区分1 |
| | 皮膚感作性 | 区分1 |
| | 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分1 |
| | 特定標的臓器毒性 (反復ばく露) | 区分1 (呼吸器) |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性(急性) | 区分1 |
| | 水生環境有害性(長期間) | 区分1 |

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き
安全対策

使用前にSDSを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

保護具(マスク、手袋、眼鏡)を着用し、使用すること。

粉塵、ミストを吸入しないこと。

取扱後はよく手を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石けんで洗うこと。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

保管
廃棄

直射日光を避け、袋を密封して保管すること。

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び製品情報

単一製品・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

無機複合顔料

内容物

| 化学名又は一般名 | 濃度または濃度範囲 | 化学式 | CAS番号 |
|----------|-----------|---|-----------|
| 酸化クロム(Ⅲ) | < 95 | Cr ₂ O ₃ | 1308-38-9 |
| ムライト | < 5 | Al ₆ O ₁₃ Si ₂ | 1302-93-8 |

官報公示整理番号
(化審法・安衛法)

| 化学名又は一般名 | 官報公示整理番号 |
|----------|----------|
| 酸化クロム(Ⅲ) | (1)-284 |

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。

| | |
|------------------------------|---|
| | 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。 |
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。 |
| 飲み込んだ場合 | 口をすすぐこと。 直ちに医師に連絡すること。 |
| 急性症状及び遅発性症状の 最も重要な徴候症状 | 吸入：咳 眼：発赤 眼、気道に機械的刺激を引き起こすことがある。 |
| 応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項 | 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。 本物質により喘息の症状を示した者は、以後、本物質に 接触しないこと。ばく露の程度によっては、定期検診を勧める。 |

5. 火災時の措置

| | |
|--------------|--|
| 消火剤 | 水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 |
| 使用してはならない消火剤 | 棒状注水 |
| 特有の危険有害性 | 不燃性であり、それ自身は燃えないが、加熱されると分解して、 腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。 |
| 特有の消化方法 | 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、 大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 |
| 消火を行うものの保護 | 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣 (耐熱性)を着用すること。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|--------------------------|--|
| 人体に対する注意事項 保護具及び緊急措置 | 関係者以外の立入りを禁止する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の 項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの 吸入を避ける。 風上に留まる。 |
| 環境に対する注意事項 | 環境中に放出してはならない。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 |
| 回収、中和 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収する。 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄 処理する。すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、 火花や火炎の禁止)。 |

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項

使用前に使用説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
飲み込まないこと。

接触回避

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。
粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

衛生対策

「10. 安定性及び反応性」を参照。

使用時にミストが発生する場合は換気の良い場所又は局所排気装置が設置された場所で使用すること。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け換気の良い涼しい所で保管すること。
容器あるいは封袋を密閉して保管すること。
混触危険物質、可燃物から離して保管する。

安全な容器包装材料

破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

日本産衛学会

3価クロム化合物として 0.5mg/m³

ACGIH

Metal and Cr III Compounds:TLV-TWA 0.5mg/m³

設備対策

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行なうこと。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

眼の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

皮膚及び体の保護具
衛生対策

安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること
保護衣、安全靴等の保護具を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

| | |
|--------------|--------|
| 形状 | 固体(粉末) |
| 色 | 緑色 |
| 臭い | 情報なし |
| pH | 情報なし |
| 融点・凝固点 | 2435°C |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | 燃焼しない |

10. 安定性及び反応性

化学的安定性・反応性
危険有害反応可能性

法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる
(SiO₂)強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
強酸・フッ化水素と反応する。

避けるべき条件

高温、混触危険物質との接触。粉じんの拡散。

混触危険物質

(SiO₂)強酸・フッ化水素

危険有害な分解生成物

情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

呼吸器感作性

(Cr₂O₃)GHS分類: 区分1

日本産業衛生学会は本物質を含むクロム化合物として気道感作性物質「第2群」に分類している(産衛学会許容濃度の提案理由書(1989))

(Cr₂O₃)GHS分類: 区分1

日本産業衛生学会は本物質を含むクロム化合物として皮膚感作性物質「第1群」に分類している(産衛学会許容濃度の提案理由書(1989))

眼に対する重篤な損傷性又は
眼刺激性

(SiO₂) GHS分類: 区分2

眼に炎症を起こす可能性がある。

発がん性

(SiO₂)GHS分類: 区分1A

人に発癌性がある(ECETOC JACC No. 51 (2006))

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

(SiO₂) GHS分類: 区分3

肺に影響を与え、繊維症(珪肺症)を生じることがある。

(Cr₂O₃)GHS分類: 区分1

実験動物では、ラットに本物質のダスト (MMAD: 1.8-1.9 μm) を13週間吸入ばく露した試験において、区分1の濃度範囲 (4.4-14 mg/m³: 0.0044-0.014 mg/L/6 hr) で、縦隔リンパ節のリンパ組織の増生、肺胞中隔の炎症性変化、黒色色素を充満したマクロファージの肺胞中隔への凝集を伴う間質性肺炎及び肺胞中隔の過形成が認められたとの試験報告 (環境省リスク評価第8巻 (2010)、CICAD 76 (2009)) があり、区分1 (呼吸器) とした。

吸引性呼吸器有害性

(SiO₂) 結晶性シリカの長期吸入により、珪肺症、肺の繊維性変化により特徴付けられる肺繊維症障害が起こる可能性がある。
人で発癌性を示す。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)

(Cr₂O₃)GHS分類: 区分1

甲殻類 (オオミジンコ) の48時間LC50=0.162mg/L (CERIハザードデータ集、2002) から、区分1とした。

水生環境有害性(長期間)

(Cr₂O₃)GHS分類: 区分1

急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。

オゾン層への有害性

情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号

3077

国連品名

ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S.

国連危険有害性クラス

9

| | |
|-------------|---|
| 容器等級 | Ⅲ |
| 海洋汚染物質 | 該当する |
| 国内規制 | |
| 海上規制情報 | 船舶安全法に従う。 |
| 航空規制情報 | 航空法に従う。 |
| 陸上規制情報 | 該当しない |
| 特別安全対策 | 移送時にイエローカードの保持が必要。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。 |
| 緊急時応急措置指針番号 | 171 |

15. 適応法令

| | |
|--------------------------|--|
| 労働安全衛生法 | 特化則 特定化学物質 第2類 管理第2類 名称等を表示すべき危険有害物 (法第57条、施行令第18条別表第9) ・ シリカ ・ 酸化クロム(Ⅲ) |
| | 名称等を通知すべき危険有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) ・ シリカ ・ 酸化クロム(Ⅲ) |
| | リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) ・ シリカ ・ 酸化クロム(Ⅲ) |
| | 粉じん障害防止規則第2条別表粉じん作業(粉じん) ・ シリカ |
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) | 第1種指定化学物質 ・ 酸化クロム(Ⅲ) |
| 労働基準法 | 疾病化学物質 ・ 酸化クロム(Ⅲ) |

16. 引用文献その他の情報

| | |
|------|--|
| 参考文献 | 化学便覧 基礎編 改訂3版 日本化学会編 化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防協会編 |
| その他 | 本記載内容は現時点で入手できた資料、情報、メーカー 所有の知見に基づいて作成していますが、含有量、物理 |

化学的性質、危険、有害性に関してはいかなる保障を
なすものではありません。

本製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用される
場合は、入手された各位が安全性の評価を実施し、自らの責任
において実態に応じた適切な措置を講じてお取扱いください。

本データシートは保証書ではありません。新たな情報が得られた
時点で、逐次改定発行されることがあります。